

スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会(9/4)

講座紹介

この講座では、心停止傷病者に対して対応できるように、心停止と判断し、119番・応援要請をして胸骨圧迫とAEDが使用できるように学び、練習。
会場には、救急車が2台並び、高機能マネキンをズラリと配置！少人数グループで練習できるよう準備。

講義

講義1は、胸骨圧迫の必要性や判断方法。「心室細動を起こしている心臓」「サッカー中に心臓が止まった瞬間」「死戦期呼吸をしている人」など貴重な映像もあり！

講義2は、緊急時の通報と対処方法について、コロナ禍での対処方法も含め、様々なケースについて学びます。



実習

VR動画では、倒れている人を見つけ、通報、対処、救急搬送するまでの臨場感ある動画を体験。
グループに救急医療学生がついて、参加者の胸骨圧迫とAEDの練習を丁寧にサポート。参加者からの質問にもどんどん答えていました。マネキンは、圧迫の深さや速さを測定してモニター表示されるので、どれくらいの力やリズムで押せばよいのか分かります。胸が上がって呼吸がわかったり、脈をとることもできる、最先端のトレーニング機材です。



参加者の声

- ・予想以上に専門的な内容、設備、知識を備えたインストラクターなど、最高の環境で講習を受けられて、大変感謝しております。ありがとうございました。(40代自営業女性)
- ・指導してくれた学生達も一生懸命で好感が持てた。(40代会社員男性)
- ・胸部圧迫を体験して、思っていた以上に力が必要である事が分かり、貴重な経験が出来ました。たくさんの回数をやった事で、ポイントが分かり、最初と最後では腕の疲労感も変わりました。(日体大教職員女性)
- ・とても楽しく、心肺蘇生法について学ぶことが出来ました。胸骨圧迫がこんなにも大変なものだと知りませんでした。もし現場でやる時が来た時に、人を助けられるようにしたいと思いました。(日体大学生女性)
- ・心肺蘇生法は今までやったことがなかったから、もし目の前に人が倒れていたら何もわからず立っただけだった。今回の講習会を受けて少しでも人の命が救えるようにできるので、受けて良かった。(男子高校生)

※ 写真、参加者の声は、過去に開催した講座のものです。